



令和8年度の学校教育目標等についてお知らせします。教職員一同、目標の実現に向けて全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

1 学校教育目標

心豊かでたくましく、自ら学ぶ意欲をもつ児童の育成 ～Well-beingを基盤に、主体的で協働的な学びの創造～

2 学校経営方針

- (1) 人権尊重の精神を基盤として、自他の人格を尊び、生き生きと活動できる児童の育成に努める。
- (2) 基本的な生活習慣や倫理観を確立し、基礎的な学力の定着及び体力の向上に努めるとともに、個性を尊重し、自ら学ぶ意欲・習慣を育てる。
- (3) 道徳、人権、特別支援教育の充実と努めるとともに、日々の教育活動を通して、思いやりのある心豊かな児童を育む。
- (4) 体験学習や総合的な学習を充実させるとともに、自然体験・社会体験・勤労体験などの多様な体験活動の展開を図り、「自らの人生を舵取りする力」を培う教育を推進する。
- (5) 安全で美しい環境の中で、健全な児童の育成をめざして、家庭・地域社会との連携を図り、地域に愛される開かれた学校づくりを進める。

3 重点目標

- (1) 「カラフルな教育」の充実
 - ア 校内研究を意識した授業改善
 - ・ 授業のユニバーサルデザイン化により、誰一人取り残さず、安心して学べる環境を整備し、すべての児童がわかる・できる授業を実践する。
 - ・ 「書きたい」「話したい」を実現する場づくりを工夫し、「主体的・対話的で深い学び」や「協働的な学び」を実践する。
 - ・ 各教科において、基礎・基本の定着を図るなど、確かな学力の向上に努める。
 - ・ 集団での指導を基盤にしつつも、1人1台端末の活用も含め、子どもたちの持つ個性や能力、興味関心に応じて多様で柔軟な学び方を支援し、ちがいを豊かさへと変える教育を推進する。
 - イ 豊かな人間性を育てる心の教育
 - ・ 児童主体の取組を充実させ、自己肯定感を高めるとともに、学級・学年・異年齢集団等の活動を通して、創造力やコミュニケーション力等を育み、互いに認め、励まし、高め合う心を培う。
 - ・ 体験学習等の経験を通して、どんな状況にも臨機応変に対応し、困難に立ち向かう力を養う。
- (2) 「縦の連携」の推進
 - ア 「伊丹市架け橋期のカリキュラム」を推進し、幼児期の環境を通じた体験的な学びと小学校教育を接続する。
 - イ 小中連携により、9年間を見通したカリキュラムでつながる小中一貫教育に取り組む。
- (3) 「横の連携」の推進
 - ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進をさらに進める。
 - イ 学校・家庭・社会教育が枠組みを越えて連携し、地域資源を活かした教育活動を展開する。
 - ウ 積極的に情報を発信し、学校・家庭・地域総がかりの教育を推進する。
- (4) 健やかな体の育成と健全な食生活の推進
 - ア 体育科の授業を中心に、児童の運動技能及び体力の向上を図る。
 - イ 学校保健・健康教育・食育の充実を図り、健康への正しい知識と望ましい生活習慣を身に付ける。
 - ウ 家庭と連携し、保護者の睡眠に対する意識を高め、児童の生活習慣の確立を進める。
- (5) 学級・学年経営及び生徒指導の充実
 - ア 学級においては、保護者と密に連絡を取って信頼関係を構築するとともに、保護者と連携しながら児童の基本的な生活習慣や倫理観の確立に努める。
 - イ 学年においては、気になる児童に関する情報交換を密に行い、各学年の協働体制の強化を図る。
 - ウ 生活指導担当を中心に、各学年で組織的な生徒指導を行うことで、早期対応を充実させる。
- (6) 教職員の働きがい改革及び学校安全の充実
 - ア 教育公務員としての自覚と責任を持ち、人間力を高め、職場の心理的安全性を構築する。
 - イ 教員同士が互いにつながり、共に教育課題に対応して主体的に学び続けるラーニング・コミュニティを構築する。
 - ウ 教職員の働き方改革を推進し、子どもと向き合う時間を充実させ、働きがい改革へとつなげる。
 - エ 校内外の安全点検・安全教育をさらに進め、地域との連携を図りながら、児童の安全確保に努める。